

○平成19年度北里学園学術奨励資金助成

〔萌芽的研究〕

| 学 部 | 職 位 | 氏 名 | 研 究 課 題 名 |
|---------|-----|-------|---|
| 薬 学 部 | 助 手 | 坂本 太郎 | 線虫 <i>C. elegans</i> の生殖腺形成におけるホスファチジルグリセロールおよびカルジオリピンの生理的意義の解析 |
| 獣 医 学 部 | 助 手 | 堀 泰智 | 猫における心不全バイオマーカーの確立と臨床的意義の検討 |
| | | | 合 計 |

〔一般研究〕

| 学 部 | 職 位 | 氏 名 | 研 究 課 題 名 |
|---------|-----|-------|---|
| 薬 学 部 | 助教授 | 長光 亨 | 新規抗感染症剤の合成研究 |
| 薬 学 部 | 講 師 | 坂上 元栄 | PARP阻害剤神経細胞保護機序に関する遺伝子発現変化検出と各種神経細胞変性モデルでの検討 |
| 薬 学 部 | 助 手 | 小山 信裕 | MRSAに対する新規イミペネム賦活化剤の作用機序の解明 |
| 薬 学 部 | 助 手 | 片根 真澄 | 線虫D-アミノ酸化酵素の機能解析 |
| 薬 学 部 | 助 手 | 斉藤 麻希 | 小動物を対象とした白内障早期診断法の確立とその臨床応用への可能性の模索 |
| 薬 学 部 | 助 手 | 三木 剛志 | <i>Chromobacterium violaceum</i> のⅢ型分泌機構における新規エフェクターの機能解析 |
| 薬 学 部 | 助 手 | 幸村 知子 | ミトコンドリア特異的膜脂質であるカルジオリピンによるアポトーシス制御機構の解明 |
| 獣 医 学 部 | 講 師 | 大塚 浩通 | ホルスタイン種と黒毛和種子牛の抹消血白血球のToll-Like Receptorの発現に関する研究 |
| 獣 医 学 部 | 講 師 | 山脇 英之 | 糖尿病性血管反応性異常に関する研究と治療薬の検討 |
| 獣 医 学 部 | 助 手 | 米澤 智洋 | 卵巣局所のゴナドトロピン放出ホルモン-アネキシン5系による黄体退行の分子制御機構の解明 |
| 医 学 部 | 講 師 | 板倉 誠 | PI 3-kinaseによる開口放出制御機構の解明 |
| 医 学 部 | 助 手 | 松本 和将 | 膀胱癌における浸潤能、薬剤耐性能獲得へのミトコンドリアDNAの役割に関する検討 |
| 医 学 部 | 助 手 | 鈴木 立紀 | PGE合成酵素mPGES-1の腎髄質間質細胞での発現と水・電解質代謝における役割 |
| 医 学 部 | 助 手 | 佐藤 公俊 | 術中蛍光血管造影による脳神経外科関連疾患の手術成績の向上に関する臨床研究 |
| 水 産 学 部 | 助 手 | 横山 雄彦 | ヒジキD-アスパラギン酸代謝経路の解明およびアスパラギナーゼの性状解析 |
| 理 学 部 | 講 師 | 梶山 和政 | ホスホラニルラジカルを用いた新規有機リン化合物の合成 |
| 理 学 部 | 助 手 | 井田 孝 | フェニルアラニン酸化酵素の一酵素二反応性機構 |
| 理 学 部 | 助 手 | 井上 浄 | オリゴDNAを用いた免疫療法の開発 |
| 理 学 部 | 助 手 | 堀 顕子 | 四重極モーメントを活用した異種金属錯体の交差集合 |
| 医療衛生学部 | 講 師 | 半田 知也 | 小型液晶ディスプレイを用いた立体視検査装置の開発 |
| 医療衛生学部 | 助 手 | 酒井 利奈 | シンキングの予防を目的とした各種人工股関節ステムの沈み込み変位量に基づく固定性評価方法の確立 |
| 一般教育部 | 助 手 | 饒村 修 | 複素環化合物の新規合成法の開発と配位子としての機能 |
| 一般教育部 | 助 手 | 崔 東学 | 高感度分光OCTの基礎研究 |